

2014年度 グッドデザイン賞受賞

Tomihisa Cross『Tokyoイゴコチ論争 オープンディスカッションによる住宅企画』

(カテゴリー:個人・家庭・住人向けの活動・取り組み)

より豊かでイゴコチの良い暮らしを実現する住宅づくりを目指し、総戸数1229戸の再開発プロジェクトであった「Tomihisa Cross」のプランをベースにしてより住まい手の視点に立って議論するため、参加しやすく、波及性が高く、即時性のあるWEB上に企画会議室「Tokyoイゴコチ論争」を設置しました。

新築分譲住宅は建築確認取得前に消費者に対し、広告やその商品に関する意見を聞くことができません。また建築確認取得後は事業性の観点からすぐ工事が始まるため、アンケートを実施してから商品の検討や決定の作業を行うことは時間的制約を伴います。そんな中でも、住まい手の声を「リアルタイム」に建設中のプロジェクトに採用することで、事業者主体の従来の方法と異なる新しい住宅の作り方をデザインしたいという思いがありました。

そこで、工事工程を調整し、顧客への伝達タイミングを通常より遅らせる等のスケジュール調整を行いながら、誰でも参加できるオープンな環境で様々なアイデアを収集し、集まった声はコミュニティデザイン、景観設計、施設運営等、各領域の専門家を交えて随時議論。単に多数決ではなく細やかな意見も積極的に反映しました。

その結果、4万人の参加者と10万の声を基に、住宅に新しいアイデアを採り入れ、より有効に使いこなすことのできる「1,000のイゴコチ」アイデアをまとめ、ベースプランを磨き上げることができました。

(※野村不動産株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社、積水ハウス株式会社と共同受賞です。)



※Tomihisa Cross外観パース



Tokyoイゴコチ論争



※イゴコチMAP